

## 北部エリアの施設再編の内容（今後の方向性）（案）

これまでの検討をふまえ、北部エリアにおいて公共施設を再編していく取り組みが必要であることを確認いただきました。では具体的にどう再編していくのか、これまでのご意見をもとに考え方を整理しました。今後、市では、ワークショップを通じていただいたご意見をもとに、市として考える再編の方向性をとりまとめ、この方向性のもとに実施計画を策定したいと考えています。

### 1. 北部エリアの全施設に共通する再編コンセプト（案）

公共サービスの質的なレベルを維持しながら、施設の総量(面積)を減らすことが必要です。質的なレベルとは、同じサービスが受けられることだけではなく、防災対応やバリアフリーなども含みます。市全体で利用していく施設と各地区で利用する施設を位置づけしていくことも必要です。

老朽化が著しくかつ利用率が下がっている施設は早期の対応を行う必要があり、既存の施設を現状のまま維持するのではなく集約化や複合化を図り、総量を縮減する必要があります。それ以外の早期の縮減対象とならなかった施設についても、中長期的な視点で今後の方向性（あり方）を、引き続き市民の皆様とともに検討していきます。状況によっては、地区割りを越えた再編を検討することも必要です。《総量縮減》

ただし、再編の具体案の作成にあたっては、避難所配置、活性化への寄与度（まちづくり）、アクセス性（公共交通の利便性・所要時間）など、北部エリア特有の配慮も必要です。

一方で、今後も維持していく施設については、管理運用に係る費用の縮減や施設の長期的な有効活用を図る長寿命化に取り組み、更新費用の縮減に努める必要もあります。必要最小限な投資のもとで、適正に各施設を維持管理していくことが求められます。《コスト縮減》

### 2. 用途別施設の方向性（案）

本ワークショップでは、北部エリアの公共施設の再編についての方向性を検討します。基本計画に示す課題と施設再編の考え方に、本ワークショップでいただいたご意見を加味して、用途別にどのような考え方のもと再編を行っていくべきか、またワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案については、具体的な方向性を検討したいと考えています。これまでのご意見もふまえ、用途別に方向性の案（たたき台）を市で作成しました。

用途別施設の方向性(案)

施設分類	1 支所・公民館
基本計画に示す課題と施設再編の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支所は行政の窓口機能として各地域における身近なサービスの拠点である。市域の拡大により市役所から遠い地域ほどその重要性は高いものと言える。</li> <li>○ 旧市内においての支所の多くは、支所と公民館の複合施設であるが、北部エリアにおいては合併を通じて行政機能の集約が進んだため多くの空きスペースが発生しており、この解消が課題となる。</li> <li>○ 地区公民館は多くの施設で築30年、支所については築40年を超えており、老朽化の振興に伴う大規模な改修や建替えを検討すべき時期が一斉に到来している。</li> <li>○ 今後、支所と地区公民館は複合施設として整備や改修を行うことを原則とする。また、地区公民館以外の機能についても可能な限り集約化・複合化を検討する。</li> <li>○ 老朽化に伴う施設の長寿命化または建替えのほか、集約化・複合化などの見直しに際しては、規模や設備について市民ニーズや施策としての有効性・効率性を踏まえて一定の基準を設定しつつ、施設の利用状況や地域の特性を生かした配置を検討する。</li> </ul>
ワークショップで出された具体的な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小佐々地区公民館が老朽化し、壁が崩壊しており、大変危険である。建替える費用もなく、支所に空きスペースがあることから、支所に移転することが望ましい。利便性もよくなると期待される。</li> <li>○ 鹿町支所は、雨漏りもひどく、老朽化が激しいので、公民館に移転することが考えられる。</li> <li>○ 集約するなら、周辺に出張所を設置することも考えられる。</li> <li>○ 江迎支所と江迎地区公民館は、いずれも耐震対策を講じた。複合化する場合は、どちらへも考えられるが、空きスペースがある支所に公民館機能に移転したほうが、経費が少ないようだ。駐車場が、少ないので、整備も必要。</li> </ul>
今後の方向性案(たたき台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支所と公民館の複合化を図り、原則的に集約後の施設の長寿命化対策を講じるとともに、機能向上を図る。</li> <li>○ 建替え時においては、適正規模への見直しを行う。</li> </ul>

＜ワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案＞

- 小佐々支所に小佐々地区公民館を移転し、複合化する。
  - 鹿町公民館に鹿町支所を移転し、複合化する。
  - 江迎支所に江迎公民館を移転し、複合化する。
- ※近隣に他の公共施設がある場合は、複合化を検討する。

用途別施設の方向性(案)

施設分類	2 体育館
基本計画に示す課題と施設再編の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほとんどの施設が築30年以上を経過しており、建替えや改修時期が一斉に到来することが予測される。</li> <li>○ 必ずしもすべての施設で利用者が設置地域に限定されるものではなく、大会の開催時などは施設によって競技施設を補完する場合もある。地域別に検討する施設と市域全体として検討すべき施設に分けられる。</li> <li>○ 施設総量及び維持管理費の縮減を推進するため、類似機能の集約化に伴う廃止のほか、地域で活動する競技団体や自治会等への運営委託、施設の譲渡など幅広く検討を行う。</li> <li>○ 利用状況から設置地域の利用に限定される施設と市域全体の利用を考慮すべき施設の仕分けを行い、それぞれの視点で配置の偏在や機能重複の有無、稼働率等を精査したうえで、将来のあり方について検討を行う。</li> <li>○ 地区公民館体育室や学校体育館との相互利用も考慮する。</li> </ul>
ワークショップで出された具体的な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域にとって、大事な施設であるため、再編は慎重に願います。</li> <li>○ 地元の利用について、一定の優先措置が講じることができないか。</li> <li>○ 集約を検討する場合は、アクセスについても考慮すべきである。</li> <li>○ 集約等によって、利用する施設の料金が安くなればよい。</li> <li>○ 地元の方が、利用しやすい施設にお願いしたい。</li> <li>○ 旧市内の方が多く利用しており、地元の方の利用がしづらい。</li> <li>○ 防災拠点としての整備を行ってほしい。</li> <li>○ 合併によって旧市内からの利用者も増え、活気づいたと感じる。</li> </ul>
今後の方向性案(たたき台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集約化を行う際には、利用者への影響を最小限に抑えるよう考慮する。</li> <li>○ 大会の開催時など競技施設を補完する、「広域補完施設」については、今後も広域的な利用が行われることを念頭に、市全体での利用者動向を見ながら適正配置及び整備・維持管理を行う。</li> <li>○ 設置地域の方が主に利用する、「地域施設」については、利用率向上対策を優先的に検討するとともに管理コスト縮減のための検討を行う。集約化あるいは施設更新が必要となった際には、その時の身の丈にあった規模に縮小整備を行う。また、地域住民が利用しやすい施設となるよう優先措置等について検討する。</li> <li>○ 避難施設などの防災拠点として追加をするなど、防災上の必要となる避難施設の適正配置を再度検討する。</li> <li>○ 学校施設と併せて適正配置を検討する。</li> </ul>

＜ワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案＞

- 小佐々スポーツセンターを広域補完施設とし、広域施設としての機能を維持する。
- 小佐々海洋センター体育館は、広域的な利用者が一定あるものの、同地区内の小佐々スポーツセンターを広域補完施設とすることなどから地域施設と位置づけ、再編や管理運営方法等の検討を行う。
- 江迎中央体育館、鹿町体育館は地域施設とし、再編や管理運営方法等の検討を行う。
- 吉井構造改善センター、御橋体育館（普通財産）については、再編や管理運営方法等の検討を行う。

用途別施設の方向性(案)

施設分類	3 スポーツ施設(野球場・多目的運動広場)
基本計画に示す課題と施設再編の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほとんどの施設が築30年以上を経過しており、建替えの時期や改修の時期が一斉に到来することが予測される。</li> <li>○ 必ずしもすべての施設で利用者が設置地域に限定されるものではなく、大会の開催時などは施設によって競技施設を補完する場合もある。地域別に検討する施設と市域全体として検討すべき施設に分けられる。</li> <li>○ 施設総量及び維持管理費の縮減を推進するため、類似機能の集約化に伴う廃止のほか、地域で活動する競技団体や自治会等への運営委託、施設の譲渡など幅広く検討を行う。</li> <li>○ 利用状況から設置地域の利用に限定される施設と市域全体の利用を考慮すべき施設の仕分けを行い、それぞれの視点で配置の偏在や機能重複の有無、稼働率等を精査したうえで、夜間照明などの設備も含め、適正配置の検討を行う。</li> <li>○ 学校グラウンドとの相互利用も考慮する。</li> </ul>
ワークショップで出された具体的な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吉井野球場や千鳥越野球場など最近大規模な修繕がされているものは存続すべき。</li> <li>○ 世知原野球場は民間に活用してもらった方がよい。</li> <li>○ 世知原運動広場と栗迎農村公園運動広場は、集約化すべき。</li> <li>○ 行事など、利用の仕方を調整することも考えられる。例えば、小佐々町にスポーツ施設関連行事を集中させるなど。</li> <li>○ 利用率が低いからすぐに廃止ではなく、利用率を伸ばす努力をするなど考え方を広げるべき。</li> <li>○ 地区間で集約化するより、まずは地区内で重複する施設を複合化した方がよい。</li> <li>○ 公共施設の利用状況を見てみると、利便性が高い施設は利用率が高い。利便性の高い場所で様々な行事が集約されている。</li> <li>○ 江迎地区には、屋外の運動施設がない。</li> </ul>
今後の方向性案(たたき台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集約化を行う際には、利用者への影響を最小限に抑えるよう考慮する。</li> <li>○ 大会の開催時など競技施設を補完する、「広域補完施設」については、今後も広域的な利用が行われることを念頭に、市全体での利用者動向を見ながら適正配置及び整備・維持管理を行う。</li> <li>○ 設置地域の方が主に利用する、「地域施設」については、地域行事等や利用実態を考慮する。代替となる開催地が確保できる施設については集約化または、管理方法の見直しを検討する。</li> <li>○ 地域や民間への貸付、譲渡などを積極的に検討する。</li> <li>○ 学校施設と併せた適正配置を検討する。</li> </ul>

＜ワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案＞

- 吉井野球場は広域補完施設とし、広域施設としての機能を維持する。
- 世知原野球場については、一定の広域的利用がありながらも、設備の老朽化具合や野球場としての機能が他の野球場と比べ劣ることなどから、多目的運動広場として整備転換できないか、利用選択の幅の拡大を検討する。また、併せて、地域や民間への貸付、譲渡を検討する。
- 千鳥越野球場については、一定の広域的利用がありながらも、中心部からのアクセス性や利用率の低迷などから、多目的運動広場として整備転換できないか、利用選択の幅の拡大を検討する。また、併せて、地域や民間への貸付、譲渡を検討する。
- 小佐々中央運動広場グラウンドについては、サッカーを基本とした多目的広場の広域補完施設と位置づけ、広域施設としての機能を維持する。
- 吉井ソフトボール場、吉井北部運動広場、世知原運動広場、栗迎農村公園運動広場、鹿町運動場、大悲観グラウンドについては地域施設とし、利用率の向上対策や地域、民間への貸付、譲渡を検討する。

# 用途別施設の方向性(案)

施設分類	4	スポーツ施設(テニスコート)
基本計画に示す課題と施設再編の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほとんどの施設が築30年以上を経過しており、改修の時期が一斉に到来することが予測される。</li> <li>○ 必ずしもすべての施設で利用者が設置地域に限定されるものではなく、大会の開催時などは施設によって競技施設を補完する場合もある。地域別に検討する施設と市域全体として検討すべき施設に分けられる。</li> <li>○ 施設総量及び維持管理費の縮減を推進するため、類似機能の集約化に伴う廃止のほか、地域で活動する競技団体や自治会等への運営委託、施設の譲渡など幅広く検討を行う。</li> <li>○ 利用状況から設置地域の利用に限定される施設と市域全体の利用を考慮すべき施設の仕分けを行い、それぞれの視点で配置の偏在や機能重複の有無、稼働率等を精査したうえで、夜間照明などの設備も含め、適正配置の検討を行う。</li> <li>○ 学校テニスコートとの相互利用や民間施設の設置状況等についても考慮する。</li> </ul>	
ワークショップで出された具体的な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元の利用は、少ないと考えられる。</li> <li>○ 民間のクラブに貸し付けたり、売却することはできないか。</li> <li>○ 北部エリアに2つ程度残して、残りは廃止してもよいのではないか。</li> </ul>	
今後の方向性案(たたき台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大会の開催時など競技施設を補完する、「広域補完施設」については、今後も広域的な利用が行われることを念頭に、市全体での利用者動向を見ながら適正配置及び整備・維持管理を検討する。</li> <li>○ 設置地域の方が主に利用する、「地域施設」については、利用状況等を分析し、貸付や譲渡など、管理運営方法を検討する。</li> <li>○ 学生の地区大会等の開催状況にも考慮する。</li> <li>○ 学校施設と併せて適正配置を検討する。</li> </ul>	

## <ワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案>

- 吉井テニスコートは広域補完施設とし、広域施設としての機能を維持する。
- 世知原テニスコートは、広域的利用があり、また、近隣の山暖簾宿泊客の利用があるが、大規模な大会開催場としての機能を有していないことなどから、地域施設とし、民間や地域への貸付、譲渡など管理運営方法等を含め検討する。
- 小佐々中央運動広場テニスコートは、地域利用が多いが、広域補完施設とする小佐々運動広場グラウンドと併設していることや、学生の地区大会等も開かれていることなどから、広域補完施設とし、広域施設としての機能を維持する。
- 鹿町テニスコートは、地域施設とし、貸付や譲渡など、管理運営方法等を含め検討する。
- 大悲観テニスコートは、地域施設とし、貸付や譲渡など、管理運営方法等を含め検討する。

用途別施設の方向性(案)

施設分類	5 小学校・中学校、給食センター
基本計画に示す課題と施設再編の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多くの小学校では、老朽化が進んでいる。安全性や教育環境の確保に加え、災害時の避難拠点でもあることから、老朽化への対策を加速させていく必要がある。</li> <li>○ 施設の効率的な活用に向けて幅広い検討が必要である。</li> <li>○ 学校体育館は、体育館や公民館体育室において各種大会・行事等で一般市民の体育館利用ができない際の補完的役割として、平日夜間や土曜・日曜日に加えて、さらなる有効利用を検討する。</li> </ul>
ワークショップで出された具体的な意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域にとって、大事な活動拠点であるので、再編は慎重にすべき。</li> <li>○ 複合化するときは、小学校同士の複合化が望ましい。中学校との一貫校では、クラス内の児童数が変わらず、競争意識の低下やクラブ活動等に支障を生じることが予測される。</li> <li>○ 児童・生徒数は、減少傾向が見込まれると予測されているが、現段階では減少しておらず、まだ早い状況である。</li> <li>○ 再編を検討する際、アクセスについては、スクールバス等を措置すべきである。</li> <li>○ 小学校、中学校の再編を検討するときは、給食センターの再編も同時に検討すべきである。</li> <li>○ もっと、地元に体育館やグラウンドを開放すべきである。</li> </ul>
今後の方向性案(たたき台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通学区域審議会答申との整合を図りながら、適正な教育環境の確保という観点から、学校統廃合、また小中一貫教育の導入の可能性について、市民の意見も踏まえながら継続的に検討を進める。</li> <li>○ 将来の人口動態を見据え適正な規模とするために、他用途への転用見込みがない場合には、建替えの際に減築を行う。</li> <li>○ プールについては、小規模かつ近接校に機能を有する場合は、集約化を検討する。</li> <li>○ 将来コストを縮減するため、集約化や維持管理・運営方法など検討する。</li> </ul>

<ワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案>

- プールやテニスコートなど個別施設について、小規模かつ近接校に機能を有する場合は、集約化を検討する。



用途別施設の方向性(案)

施設分類	6	江迎地区公民館文化会館(インフィニタス)
基本計画に示す課題と施設再編の考え方	<p>○ 各施設の条例に基づき、文化・芸術の振興等を設置目的としており、市民の文化活動の拠点として機能している施設である。</p> <p>○ 公民館の附帯施設との位置づけから、設置条例上、幅広い目的の利用ができないといった制約がある。</p>	
ワークショップで出された具体的な意見等	<p>○ 文化会館は、他施設と目的や利用方法が異なるので、老朽化したからという理由で、どこかの施設と複合化することは慎重に考えた方が良い。</p>	
今後の方向性案(たたき台)	<p>○ 利用率向上対策を検討する。</p> <p>○ 設置条例の整備等により、公民館から文化施設へ用途を見直すなど、多様な利用に対応できる施設として、より多くの市民に利用いただける方策を検討する。</p>	

<ワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案>

- 利用率向上を図るため、運営管理形態等について検討する。

# 用途別施設の方向性(案)

施設分類	7 その他の施設 ・農村交流施設 吉井活性化センター(ソレイユ吉井)、世知原活性化施設(国見の郷)、えむかえ活性化施設、しかまち活性化施設 ・農産物加工所(吉井、世知原、小佐々、江迎、鹿町) ・海洋スポーツ基地(小佐々、鹿町) ・プール(小佐々、御橋プール<普通財産>) ・児童クラブ(各地域に設置、計7箇所) ・保健福祉施設(江迎2箇所、鹿町温泉) ・観光・レジャー施設(長串山、冷水岳、山暖簾) ・消防施設(詰所、格納庫) ・その他
基本計画に示す課題と施設再編の考え方	○ 利用率が少ない施設は、何らかの策を講じる必要がある。 ○ 基本計画の総量縮減を念頭に、廃止、売却、規模縮小、用途変更、再編・複合化、長寿命化に努める。その際、利用する住民への影響を最小限にとどめるよう注意しなければならない。
ワークショップで出された具体的な意見等	○ (海洋スポーツ基地)修学旅行生を受け入れており、一定の利用がある。 ○ (海洋スポーツ基地)海きららのシーカヤックより、利用料金が安い。 ○ 利用されていない施設は、廃止すべきだろう。(全体意見として)
今後の方向性案(たたき台)	○ 建替えの時期には、存続を前提とせず、利用状況を把握して、集約化や貸付、譲渡、売却、用途変更等を検討する。 ○ 個別計画がある場合は、その計画に基づき、整備検討を進める。 ○ 遊休施設や遊休地については、貸付や売却などを含め、民間利活用を進める。

## <ワークショップの意見に基づく個別施設の方向性案>

- 基本計画や再編コンセプトに基づき、各用途ごとに、個別に対応を検討する。
- 農産物加工所について、地元の利用団体等に、譲渡できないか、または廃止できないか検討する。
- えむかえ活性化施設は、地元利用団体に譲渡を進めている。
- 遊休施設や遊休地については、貸付や売却などを含め、民間利活用を進める。